

平成 2 2 年 1 2 月 3 日

清水町議会議長 田 中 勝 男 様

清水町議会総務文教常任委員会
委員長 口 田 邦 男

所 管 事 務 調 査 に つ い て

常任委員会活動として行う所管事務調査について、このたび調査を終えたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

1. 調査事項 冬季スポーツの振興について

2. 調査期日 平成 2 2 年 1 0 月 2 8 日

3. 調査先 町内、帯広市

4. 調査の結果

冬季スポーツの振興策について、町教育委員会より説明を受けた後、帯広市屋内スピードスケート場の視察を行い、市教育委員会担当者から説明を受けた。

【本町の冬季スポーツの振興策について】

町民が生涯にわたり健康で活躍できることを目標に掲げ、町総合計画及び町社会教育計画に沿って各種事業が展開されている。

冬季スポーツとしては、アイスホッケー、スピードスケート、ゲ

レンデスキー、歩くスキーなどがあり、各世代が健康づくりのために自分の体力に合わせて楽しむレクリエーション活動として、また、一歩上を目指す競技スポーツとして、それぞれの目的に合わせ幅広い取り組みが行われている。

夏場と同様に体力づくりを行うために、町体育館、農村環境改善センターをはじめ、小・中学校体育館など屋内体育施設も多くの人に利用されているが、施設は十分足りているとのことである。

また、町民は、競技用のスケートリンクや通年利用型の水泳プールなど町内にない施設は、近隣町や帯広市の公共施設等を利用している一方、町外からも本町のアイスアリーナを利用するなど広域的な利用が図られている。

教育委員会では、各種スポーツ教室や大会を開催し、町民に健康づくりの機会を提供しているが、参加者の固定化、または減少しているものもあり、事業内容の見直しや周知方法の工夫について検討されていた。

町内の体育施設は、いずれも老朽化しているが、今後も利用者が安全に安心して気持ち良く利用できるよう、計画的に維持補修を行っていく必要がある。

【帯広市屋内スピードスケート場について】

帯広市屋内スピードスケート場は、平成 21 年 9 月に国内で 2 番目、道内で初の屋内スピードスケート場としてオープンした。

総工費は 60 億 7 千万円で、国際大会に対応した 1 周 400m のリンクのほか、リンクの外周には 1 周 470m のランニングコース、中地には多目的広場もあり、フットサルやテニスコートとしても活用されており、観客席は立見席を含め 3,000 人の収容が可能となっている。また、最新のトレーニングマシンやランニングマシンなどを整備した健康増進多目的室も設置されている。

開館期間は、スケートリンク部分は、7 月下旬から 3 月上旬までの期間、その他の部分は通年利用されている。室温は常に 13 度に保

たれており、天候に左右されることなく、快適にスピードスケート等を楽しめるなど十勝のスポーツ・レクリエーションの拠点施設となっている。

この施設の利用料金は、市民も市民以外も同一の料金設定であり、スケートリンクの一般利用は大人 1 日 800 円、高校生は 400 円、小・中学生は無料で利用できる。

なお、年間の施設利用料や広告料等での収入 5,500 万円に対し、維持管理経費は約 2 億円とのことであり、国際大会を継続的に誘致するなどしていかに入場料収入等を確保するかが課題となっていた。